

新横浜出張所だより

国土交通省関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所
新 横 浜 出 張 所 発 行
電 話 0 4 5 - 4 7 6 - 5 0 0 3
2010年07月09日【第 4 号】

鶴見川の堤防を安全に利用して頂くために 自転車走行のルールを守りましょう

鶴見川は、多くの方が散歩などで利用しています。最近、ヘルメットをかぶった高速自転車が危ないと言う声が寄せられています。

堤防上の道路を見ると、右側を走っている方、並んで走っている方、携帯電話で話しをしながら走っている方様々な方を見かけます。自転車に乗る時のルールやマナーは、どうなっているのでしょうか？

今回は、『自転車文化センター』の協力を得て、守って欲しい6つのルール・マナーを掲載しました。自転車に乗っている皆さん、ルール・マナーを守って、安全に利用しましょう。



車道の左側を走りましょう！



自転車通行可の歩道を走るときは
歩行者が優先です



夜間ライトをつけましょう！



携帯電話を利用しながら運転するのは
やめましょう！



傘をさしながら運転するのはやめましょう！



スピードの出しすぎはやめましょう！

綱島西2丁目堤防補強工事が完成しました



長い間、ご
迷惑をおか
けしました。



横浜市港北区綱島西2丁目の鶴見川堤防で行われていた堤防補強工事は、6月30日に完成しました。諸事情で2回ほど工期を延ばし河川利用者の皆さんには、ご迷惑をおかけしました。

この工事は、堤防点検の結果、洪水時に危険が想定される箇所への補強工事です。洪水時に堤防内に浸透（河川水が入り込む）する水を速やかに排出し、堤防の安全性を向上させるものです。

鶴見川多目的遊水地1周ウォーキングが行われました



6月13日(日)9時20分から『鶴見川多目的遊水地1周ウォーキング』が鶴見川流域センターの主催で行われました。

このイベントは、流域を水害から守るために大切な役割を果たしている遊水地の紹介を中心に、越流堤、排水門、遊水地の中は日産スタジアムのピロティ建築の見学を行いました。

また、鶴見川の亀甲橋付近では、野外水族館を作り、アユ、ウナギ、ウキゴリなど8種類の生き物の観察を行いました。

このイベントには、大人19名、子ども11名の参加で、4.5kmのコースを2時間かけて楽しみました。

リバーシビックマネージャーの委嘱式が行われました



京浜河川事務所では、7月1日(木)14時から大師河原防災ステーションで「リバーシビックマネージャー(RCM)の委嘱式」が行われました。

当事務所では、日本で初めて住民のボランティア活動の一環として、河川管理行為の一部について支援して頂くことを目的に、平成12年度よりリバーシビックマネージャー(川の市民管理者:RCM)制度を創設しています。

鶴見川を担当するRCMの方は、鶴見出張所、新横浜出張所管内併せて17名となり、鶴見川等に関する情報や地域の意見、要望を2年間報告して頂くようになります。

あとがき

最近、ゲリラ豪雨が問題になっていますが、鶴見川支川の**早淵川高田橋**で6月28日17時過ぎに、**10分間で1m60cm程度の水位上昇**が起っています。この時、寺家橋雨量観測所(川崎市麻生区早野)で1時間に**68mm**の雨量を観測しています。**(詳しくは、京浜河川事務所のホームページをご覧ください)**

鶴見川流域の河川は、このように水位上昇が起りやすい河川ですので、特に注意が必要です。鶴見川を利用される皆さんは、携帯電話に次のアドレスを登録し、河川情報の収集を行って、安全に努めて下さい。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/m/>

夏休みは、鶴見川を利用される方も多いため、水難事故に気を付けて!

『新横浜出張所だより』編集長(上林喜美夫)

鶴見川流域センターに年間約16,000人が

6月の来館者数は、5月よりかなり増えていました。2つの大学、小学校、保育園など団体で見えたようです。団体で見学されたい時は、出来るだけ予約してから来て下さい。

当センターでは、7月から8月にかけて夏休みの自由研究にも活用できる講座や学習会、「簡易雨量計を作ろう」などの工作教室も計画されています。

また、6月から鶴見川で捕れた鮎が展示されていますので、ご覧ください。

【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

(鶴見川流域センター直通)

平成22年6月の来館者数1,697人